

(仮称) 岩見沢市子ども計画（案）に対する市民意見募集の結果について

1 意見募集の概要

募集期間	令和7年1月15日（水曜日）～令和7年2月4日（火曜日）
意見提出人数	計 48名（おとな：20名、子ども：28名）
意見提出件数	計 103件（おとな：50件、子ども：53件）
意見提出方法	おとなの意見 50件（意見フォーム：48件、持参：1件、郵送：1件） 子どもの意見 53件（すべて意見フォーム）

2 提出された意見と市の考え方

■おとなの意見

No.	項目	意見	市の考え方
1	基本目標 1-(1)	子どもの権利条約については、子ども自身知らなければならないので、教育の場で大人も子どもと一緒に知るところから始めていければいいかと思います。	子どもの権利保障については、子ども・若者自身だけでなく皆さんに知ってもらう必要があります。 市ホームページでの周知だけでなく、いただいたご意見を参考にしながら、子ども・若者の権利を知り、理解を深めることができる取組を検討してまいります。
2	基本目標 1-(2)	小学校敷地内に児童館や学童があるととても安心です。子供の歩きで20分は大変。距離もそうですが、子供が不審者に遭遇してしまってる現状を、もっと深刻に考えていただきたいです。実際に娘が、娘の友達がそうでしたから。こころの傷は中々消えないです。学校からスクールバスで行かせるのも考えていただきたいです。雪道で、通学路なのに歩道の除雪もなくなって、車道を歩いている状況みたいですが…。どこまで、学校や児童館から報告があるのかわかりませんが、全て何かあってからでは遅いです…。	小学校と児童館・放課後児童クラブの距離などについては、市としても地域ごとに課題があると考えています。 児童館などの配置は、今後の児童数や留守家庭児童の推移、学校の適正配置などと併せて検討を進めることとなりますので、いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

No.	項目	意見	市の考え方
		私は住みやすく大好きな街なので、子供にもそう思ってほしいし、長く住んでいて欲しいので、どうぞよろしく願いいたします。	
3	基本目標 1-(2)	主旨と関係ないかもしれませんが、児童館が小学校から遠く、通わせるのが心配です。しかし、通ってもらわないと仕事ができないので、児童館を小学校の近くに建ててもらいたいです。中央小がとても理想的ですが、美園くらい近ければ安心できます。 児童館が遠いと子ども達も負担となるので、考えてみて頂きたいです。	
4	基本目標 1-(2)	現在、市内には、個人等有志で居場所を提供しているものがあります。市内に点在しているこれらの居場所について市が実態を把握し、必要とする人に実際に使える社会資源についての情報提供をできる体制を整えてください。 また、公設の居場所をつくるだけでなく、民間の既存の居場所について補助金の支給等支援をしてほしいです。あそびの広場とはまた違う、時間制限なくゆったりと過ごせる、小学生中学生も気軽に利用できる常設の居場所があるとよいです。札幌市南区のc0ミドリのような常設のプレーパークは先行事例として見てほしいです。市内で行われているプレーパークが常設となり、建物があるといいなと思います。	国では、こども・若者全員が居場所を見つけることのできる社会の実現を目指して、こども・若者の視点に立った居場所づくりの取組を推進しています。こども・若者本人にとって居心地が良いと思えるものであれば、どのような場所・時間・人との関係性であっても居場所となり得るため、どこを居場所にするかを大人が指定することは適当ではないとされています。地域で活動する方々には思い思いの取組をさせていただいていると思いますが、こども・若者が求める居場所のあり方とのギャップが生じやすいため、そのギャップを埋めるためにこども・若者の声を聴きながら、個人や団体の活動の支援が必要と考えています。情報提供体制を含め、どのような支援手法が良いかなど、いただいたご意見を参考としながら今後検討してまいります。
5	基本目標 1-(2)	子ども食堂の取り組みの広がりが市内でも見受けられるように、「居場所型」の支援が拡充されています。その一方で、経済的困窮・病気や障がい・心身の不調など、様々な事情をもつ家庭においては、そうした不特定多数の人が集まる場所を利用することに難しさを抱える家庭も多く存在すると思われます。そうした家庭に対して、少人数で過ごすことのできる小さな居場所で親子に寄り添う支援も各地区で必要だと思えます。温かい手作りの食事や衛生的な部屋で心身を休めることのできる場所で元気を取りもどし、もう少し大きい場所に出て行くことが出	

No.	項目	意見	市の考え方
		<p>来るのだと思っております。そのためには、段階的な居場所での過ごし の環境の整備に理解と支援があれば良いと思います。</p> <p>個人的に不登校の親子の過ごしと活動の場を定期開催していますが、 資金面では苦勞しているが、行政の力を受けると制約が多くなるので は...という懸念がありますし、広報に載せるような活動は望んでいな いので、細々と活動するしかないのか、悩んでいるところです。どうし ても人と場所につく活動です。自由すぎた内容になりましたが、本音で 記しました。</p>	
6	基本目標 1-(6)	<p>現在、我が子の、いじめ問題について市の教育委員会に、相談している はずなのに今回の素案にこれに関連する内容がもりこまれていないの は、なぜですか？国や道の内容に含まれていないからと言って昨年か ら相談している内容を含まないのはいかがかと、思います。軽視されて いるとしか受け取れません。軽視しているわけではないということ であれば、それに見合った素案をお示しください。お願いいたします。</p>	<p>市では、令和5年10月に岩見沢市いじめ防止基本方針を一部改定し、 「いじめの積極的認知」と「いじめ見逃しゼロ」の徹底や、いじめの防 止等に向けた取組を推進しています。</p> <p>ご意見を踏まえ、以下の内容を計画書本編に追記いたします。</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの積極的認知といじめ見逃しゼロの徹底 <p>全教職員がいじめの定義を正しく理解したうえで、学校が一体となっ て早期発見・早期対応の取組を推進します。また、教職員が発見・相 談・通報を受けたいじめの情報を学校いじめ対策組織において情報共 有する手順及び内容を明らかにし、迅速かつ組織的に対応します。</p> <p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題に対する校内研修の推進 ・「ピア・サポートプログラム」の実施
7	基本目標 1-(7)	<p>子供が集まる施設も小さくて場所も微妙だし、南幌みたいに広くて楽 しめる施設を作って欲しい。市役所の謎の石買うお金があるなら、子供 達にお金を使うべきです。子供達が長く住む場所ではないですね。遊ぶ 場所も全くないし、公園もちゃんと整備されている場所も少ないし。こ</p>	<p>こどもの集まる施設やあそび場、公園の整備など、こどもたちが長く住 む・住みたいと思うまちとなるよう取組を進めてまいります。ご意見は 今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	項目	意見	市の考え方
		ども計画がしたいなら、無駄なものにお金を使わないで頂きたい。	
8	基本目標 1-(7)	社会資源は、特に公設のものは、作ればよい、存在すればよいというものではありません。どのように誰が使っているのか、利用価値の低いものを断捨離し、市民が本当に必要としているところに支援が届く、市民の満足度が高まるような計画が策定されることを望みます。よろしくをお願いします。	市では多くの施設を保有しておりますが、建物の老朽化の状況や使われ方等を踏まえ、再編を進めています。また、事務事業についても、社会情勢の変化等に合わせた再構築に取り組んでおり、施設の再編と合わせて、安全・安心で市民満足度の高い子育てサービスが提供できるよう努めてまいります。
9	基本目標 2-ア-(1)	・妊娠出産へのサポート 無痛分娩の助成をしてほしい。痛みから逃れられる可能性が上がるだけで出産のハードルはほんの少しではあるが下がる。 また、重症妊娠悪阻や切迫早産等の長期入院に関しても行政より助成金が出るととても助かる。上記の長期入院に関しては、金額はもちろん入院中に上の子を養育する手助け等も用意して貰えると嬉しい。	妊娠出産へのサポートについては、不妊治療費等の助成や妊産婦健康診査の助成などを行い、経済的支援や妊産婦の健康管理に努め、母子の健全な育成に取り組んでいます。 出産時の選択肢を増やすことは、母体の健康と生活を守るためにも重要なことと考えています。限りある財源の中で、子育て支援施策全体を考えながら、今後の経済的支援のあり方について検討してまいります。また、入院等によるこどもの養育の手助けとして、児童養護施設や里親がこどもを一定期間お預かりするショートステイを実施しています。そのほか、ふれあい子どもセンターと日の出保育園で一時かつ短期間お預かりする保育サービスや、地域の会員相互の子育て援助活動を支援するファミリー・サポート・センター事業など、養育を必要とした際にご利用いただける制度があります。必要な方が必要な時に利用できるよう、引き続き制度の周知啓発に努めてまいります。
10	基本目標 2-ア-(1)	・産後ケアの充実 宿泊型や食事提供など希望	産後ケアは、産後間もない母親の身体的な回復と心理的な安定が図られるよう、出産後1年以内の期間に、助産師が心や体のケアや育児について訪問や施設での相談を行っています。 引き続き産後も安心して子育てができるよう、実施方法や実施場所等について検討するなど、産後ケアの充実に取り組んでまいります。

No.	項目	意見	市の考え方
11	基本目標 2-ア-(1)	・子育てをする障がい者に対する支援 1歳までのヘルパー派遣を障がい者家庭は未就学児まで使えるようにする等。	産前産後の子育て家庭の身体的・精神的負担を軽減し、安心して出産・子育てができるよう、妊娠届出時から出産後1年以内の期間に家事・育児の支援を行う産前産後ヘルパー事業を行っています。 また、障がいのある保護者の子育て支援として、保護者の養育を支援することが必要と認められる児童のいる家庭に対し、家事・育児支援、相談支援を行う特別育児支援ヘルパー事業のほか、障害福祉サービスの居宅介護等による育児支援などを実施しています。引き続き、個々の家庭状況に応じた支援に努めてまいります。
12	基本目標 2-ア-(1)	0～1.5歳までの検診が少ない。我が子の成長を確認できる良い機会なのと、不安なこと等を保健師さんに面と向かって聞くことができる機会なのに回数が少ないのが今まで住んでいて残念。私は電話が苦手だったり実際に訪問することが難しかったりすることもあるので、検診の時に聞いていました。 これから子育てが始まる若者や生まれてくる子どもたちのためにも検診の回数を、せめて母子手帳にある回数に行って欲しいです。	乳幼児健康診査は、母子保健法により1歳6か月児と3歳児に対して実施が義務付けられており、市では現在、4～5か月児、8～9か月児、1歳6か月児、3歳児健診を実施しています。ご意見は、今後の健診実施の参考とさせていただきます。 また、こどもの成長や子育ての不安などについて気軽に相談することができ、安心して出産・子育てができるよう、相談体制の充実と併せて「すこやか健康手帳」アプリを活用したオンライン相談や、子育て情報の積極的な発信に努めてまいります。
13	基本目標 2-ア-(1)	子どもの健診の時間を短くしてほしい。歯科衛生士さんの話が長い。一歳半健診では、待ち時間も長いし、それぞれのブースからの話も長くて、子どももぐずって疲れた。子どもがぐずって、歯の話や栄養の話されても、ゆっくり聞けない。集合に対して話す内容は資料でください。それよりも、一対一で話す時間を長くしてくれると嬉しい。 保健師さんとはゆっくり相談できる時間があってよかった。	乳幼児健診の実施方法について、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
14	基本目標 2-ア-(1)	妊婦健診の助成金の紙は郵送して欲しい。上の子を連れて、助成金の紙を取りに行くのは大変。仕事の休みの都合をつけることも難しい。	市では、妊娠届出時から妊婦・子育て世帯に寄り添い、身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の一環として、母子健康手帳の交付時と妊娠25週前後、生後1～2か月児の赤ちゃん訪問の際に面

No.	項目	意見	市の考え方
			<p>談を実施しており、併せて妊産婦一般健康診査等受診票の交付や出産・子育て応援ギフトの申請案内などを行っています。</p> <p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
15	基本目標 2-ア-(3)	<p>・トワイライトステイの拡充</p> <p>理由なしでも利用できるようにする。ネグレクトの家庭に対してアウトリーチ支援できる可能性がある。また、共働き夫婦等の支援にもつながる。</p>	<p>子育て支援夜間養護等事業（トワイライトステイ）は、保護者が仕事その他の理由により平日の夜間または休日に家に不在となり、家庭において子どもを養育することが困難となった場合等に、子どもを施設等において養育するものです。その他の理由として、疾病、出産、冠婚葬祭のほか、育児疲れ等のレスパイト利用も可能としています。</p> <p>事業内容の周知啓発に努め、事業利用を通じた共働き家庭への支援を進めてまいります。</p> <p>また、ネグレクト等の児童虐待の予防や早期発見につながるよう、こども家庭センターにおける相談支援体制の充実を図り、関係機関との連携に努めてまいります。</p>
16	基本目標 2-ア-(3)	<p>岩見沢市幌向あたりで保育園を増やして欲しい。市内の中心部分にしか多くなく、岩見沢の端の方は保育園が少なくて困っている。</p>	<p>現在、幌向地域の保育所等は1か所となっています。幼稚園や保育所等の幼児教育・保育の提供については、市内を1つの区域として設定し、今後の児童数の推移や市が実施したニーズ調査、これまでの受入実績をもとに推計して提供体制について定めています。</p> <p>地域における幼児教育・保育の需給バランスを見極めながら、保育所等の定員変更や統廃合の検討を進め、引き続き受入枠の確保に努めてまいります。</p>
17	基本目標 2-ア-(3)	<p>保育園を利用できる就労時間を48時間以上にしてほしい。今は月64時間以上になっているが、子どもがいながら64時間以上働くのは難しい。子どもはよく体調を崩す。その度に会社を休むことになる。48時間の就労なら、週に2日働くシフトも組め、母が休みの日に子どもを休ませたり、病院に連れて行くことが出来る。母が仕事休みの日に家</p>	<p>子ども・子育て支援法では、就労を理由とする保育所等の利用要件として、1か月あたり48時間から64時間までの範囲内で市町村が定める時間以上の労働を常態とすることが要件とされています。また、基本的な考え方として、フルタイム就労とのバランスを勘案し、フルタイムの半分以上の就労を目安とし、地域の実情を考慮して定めることとさ</p>

No.	項目	意見	市の考え方
		<p>事も出来る。48時間が無理なら58時間でもいい。もう少し配慮していただけませんか？お願いします。</p>	<p>れており、市では64時間に設定しています。 現状、就労時間が要件を満たさないご家庭につきましては、保育所等における一時預かりや病児保育、ファミリー・サポート・センターなどをご利用いただくこととなります。ご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
18	基本目標 2-ア-(3)	<p>幼保と小学校教育の関係者の連携を推進していくとの方針に、中学も加えることで、継続的に成長を支援していく体制を整えていくことができると思います。環境変化のギャップで苦しむ子どもたちは年々増加しているように感じており、不登校には該当しませんが、学校に行くのがつらく休みがちになってしまっている子どもも多く見かけます。教育機関の連携強化、情報共有によって、解決できる問題も増えることと思いますので、切れ目のない支援をするため、一丸となって取り組みを希望します。</p>	<p>国では5歳（年長）から6歳（小学校1年生）の2年間を架け橋期と位置づけ、幼稚園・保育所と小学校との連続的なカリキュラム策定を推進するなど、幼保小の連携体制の構築を進めようとしています。市でもこの動きを支援し、いわゆる「小1ギャップ」の解消を目指し、取り組んでまいります。 また、市内の小・中学校では、義務教育9年間で切れ目なく支援するため、全中学校区に学校運営協議会を設置し、その中で、いわゆる「中1ギャップ」を生まないための取組についての熟議が行われています。また、教職員の研修や学校行事等を小中合同で開催する中学校区は年々増え、小中連携は強まってきています。引き続き、切れ目のない支援を継続・強化してまいります。</p>
19	基本目標 2-イ-(1)	<p>教員は日々の業務に追われ、子どもたちとコミュニケーションをとる時間が少なくなっているように感じます。子どもたちの様子を見ると、自分の小学生時代に比べ、手をつないだり、雑談をしたり等、大人とのコミュニケーションを求めている姿を多く目にします。日常生活の中でコミュニケーションがとれる時間を多くとることによって、些細な変化に気が付いたり、相談しやすい環境を作り出すことができるようになり、子どもにも教員にもメリットが大きいであろうと考えます。人とのつながりを大切に教育、魅力的なのではないでしょうか。</p>	<p>子ども同士のつながりを大切に取組として、授業等において協働学習の時間を確保したり、異なる考え方であっても議論し納得解を生み出したりする取組を行っています。また、良好な人間関係を構築するためのスキルを獲得するための授業等も実施しています。 子どもと教員とのつながりについては、教職員の「働き方改革」により業務の見直しを図り、生み出された時間を子どもと接する時間に充てております。引き続き、人と人とのつながりを大切に教育活動を推進してまいります。</p>

No.	項目	意見	市の考え方
20	基本目標 2-イ-(1)	・指定校以外の学校への通学の許可できる基準の改善 メープル小学校の通学区域在住者は自由に小学校を選択できるようにして欲しい。小規模特認校を希望しない親や子もいると思う。	市では、学校教育法施行令に基づき住所地に応じた通学区域を設定しています。なお、教育委員会が相当と認める理由がある場合には、指定された学校を変更することができます。
21	基本目標 2-イ-(1)	・日の出北1～3丁目の小学校・中学校の通学区域の見直し とても細かく設定されているが、遠くの学校が指定されているのではないか。	通学区域は学校からの距離だけではなく、生活する上での地域性も考慮し設定しています。通学区域外の学校が自宅から近い場合は、指定校を変更することが可能です。
22	基本目標 2-イ-(1)	・子供の通学費用補助について 岩見沢は電車一本で江別・札幌・美唄等の広い範囲の高校への就学を望める立地だが、遠方通学への補助はない。我が家は札幌から幼児の子育てがしやすい幌向に引っ越してきたが、このまま特に補助等がなければ上の子の高校進学とともに再び札幌へ移住も検討している。 広い地域への就学が可能なのは岩見沢の強みなので、ぜひ活かしてほしい。	市には市立高校、道立高校があり、いずれの学校も魅力創出に注力しています。岩見沢のこども達には岩見沢の学校で学んでいただきたいと考えていますが、交通の要衝である岩見沢市への貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
23	基本目標 1-(2) 2-イ-(1)	岩見沢には、学校に行きたくてもいけないこどもたちには登校支援室があります。都会ですとフリースクールでも様々な選択肢がありますが、岩見沢には選択肢が少ないというのが現状かと思えます。 学校の空き教室や図書館、郷土科学館等既存の施設を活用した新しい居場所をつくり、軽い気持ちで立ち寄れる場所、自分に合う場所を選べるようになれば、心の負担を軽くできるのではないかと自身の経験上思っています。	市では、市内2か所に登校支援室を設置しています。また、市内の小・中学校では、空き教室等を利用したサポートルームを確保し支援を行っています。こどもたちの選択肢が増えるよう、引き続き、支援体制の充実を図ってまいります。
24	基本目標 1-(2) 2-イ-(1)	不登校の子が行ける場所が充実してくれるといいなと思っています。 精神面で悩みをかかえる子が多い世の中なので、考え方やメンタルトレーニングなどについても学べる機会があるといいと思っています。	市内の小・中学校では、定期的にスクール・カウンセラーを派遣し、希望する小・中学生や保護者の悩み等に対して、カウンセリングを受けられる体制を構築しています。また、市教育支援センターの教育、福祉、医療、心理の専門家にご相談いただくことも可能です。 さらに、こども自身が悩みを解決できるスキルを身に付けるために、特

No.	項目	意見	市の考え方
			別活動において自己の生活上の課題を解決する活動を行っています。引き続き、こどもたちの実態に応じた取組やプログラムの研究を推進してまいります。
25	基本目標 2-イ-(1)	<p>・P30 目指すまちの姿 1市からの情報発信の強化 3居場所づくりについて 不登校児童・生徒が急増しています。その中でも、小学生の居場所について。市内でも、小学生は70名以上の不登校児童がおり、行き渋りなど含めるとその数はさらに増加しています。</p> <p>・p23 ②教育相談・登校支援の取組 について 不登校やいじめについて教育支援センターに相談したとしても、対応は不十分です。現状では必要な情報を得られません。いじめを含めた友人関係、教員の対応、学校という環境に傷つき体験がある子どもをケアする場が足りません。</p> <p>携わる人材は、公認心理士やスクールソーシャルワーカーの資格を有する人材とありますが、出身分野が教育に偏るのではなく、福祉や心理等の他分野出身の専門職を採用し、他職種で構成した多角的な視野でチームを組んでほしいです。</p>	教育支援センターは、教育、福祉、医療、心理の専門家の職員で構成されています。また、相談内容によっては、他の職種の方から意見をいただくことがあります。1つの事案について、多面的な視点でアセスメントが行われるよう、引き続き、関係機関との連携強化に努めてまいります。
26	基本目標 2-イ-(1) 1-(4)	<p>・p23 ②教育相談・登校支援の取組 について こどもの居場所づくりとして市内に登校支援室を設置とありますが、現状では中学生の利用はあれど、小学生の継続利用には至らない現状があります。登録数と、実際に通所している子どもの数を確認して下さい。</p> <p>学校に行かない子どもが居場所として実際に機能しているものとして、児童デイサービスや通級指導教室があるのであれば、こっそり使うのではなく、きちんと認めて制度化してください。児童デイサービスは</p>	市内の登校支援室については、市内に在住する児童生徒への支援を幅広く行っています。本年度、小学校での不登校児童への支援のため、11月～2月の間に、小学生を対象とした「遊ぼう！楽しもう！プロジェクト」を新たに企画し、体を使った遊び・読み聞かせ会・創作活動の実施など、小学生の新たな居場所となるよう取組の改善に努めています。市内の通級指導教室は小学校4校、中学校1校に設置しています。通常の学級での学習におおむね参加できるものの、一部特別な指導を必要とする児童生徒に対して、障がいに応じた特別の指導を行います。希望

No.	項目	意見	市の考え方
		<p>利用するために受給者証が必要です。療育のために本当に必要で取得している場合だけでなく、子どもの居場所を確保するため、制度利用をするための病院受診、診断をつけ、受給者証を取得する現状は本末転倒です。不登校児童の受け入れ先として児童デイサービスと連携し、受け入れ可能施設についての現状把握をしたうえで、利用しやすい環境整備が先決であり、不登校児童を抱える家族の孤立を防ぐため、正確な情報提供を行い、アクセスしやすくする体制を早急に整えてください。</p>	<p>者は設置校の担当者と面談等を行ったうえで入級できるものとなっております。不登校児童生徒の受け入れ先ではありません。</p> <p>放課後等デイサービスは、就学している障がい児を対象に、放課後や休日、夏休みなどの長期休暇中、生活能力向上のための訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行っています。</p> <p>国では、全国的な不登校児童の増加を受け、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定により「個別サポート加算（Ⅲ）」が創設されています。内容は、不登校の状態になったが、放課後に利用していた放課後等デイサービスには信頼関係の下で通うことができる障がい児に対し、当該放課後等デイサービスが学校・家庭等と連携して支援を行う場合に算定することを想定したものとなっております。</p> <p>なお、放課後等デイサービスは身体障がい・知的障がい、精神障がい（発達障がい含む）・難病・医師などから療育の必要性が認められた子どもを対象としているため、受給者証の発行には障がい者手帳または医師意見書の確認を必要としています。</p> <p>ご意見は、こどもの居場所づくりを検討する際の参考とさせていただきます。</p>
27	基本目標 2-イ-(1)	<p>・P47 子育て当事者への支援の充実（1）妊娠から子育て、教育・保育に関する経済的負担の軽減 について</p> <p>上記（No. 25、No. 26）が現状すぐに実ればよいですが、根本には現在の公教育自体が変わらないことには、解決しません。小中学生が、学校に行かない選択をした場合、相当な覚悟がいります。それに代わるものが、残念ながら岩見沢市内には存在しないからです。サポート体制が充実するには時間がかかります。その間にも子どもの貴重な時間は止まりません。</p>	<p>登校支援室及び教育支援センターにおいて、児童生徒への保護者の支援を幅広く行っています。今後も関係機関との連携強化に努めるとともに、小学校での不登校児童への支援など取り組みの改善に努めてまいります。</p> <p>ご意見は、いじめ問題等への支援を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

No.	項目	意見	市の考え方
		<p>子どもの幸せを一番に考え、いじめ等被害者のやむを得ない事情により転校・転出等する場合や、そうでなくとも現状の岩見沢市内の公立学校を選択しないで私立小中学校への入学・編入が必要な場合の助成を行ってください。</p>	
28	<p>基本目標 1-(2) 2-イ-(1) 2-イ-(2)</p>	<p>こどもの居場所づくりについてです。 チャレンジスクール等市内で行われる体験活動に参加してきました。科学、文化、スポーツあらゆる分野に触れることができるので、知的好奇心が刺激されたり、同じことに興味を持ったお友達に出会う場になったりと充実感を得られる活動になっています。 岩見沢に移り住んだ一年目は市外の小学校に通っていましたが、なかなか情報を得ることができませんでした。市内の学校に通うようになってからは、学校からお知らせがあるので参加しやすくなりました。学校によってアプリで情報を配信したり、プリントで渡したりと方法が異なるようです。 アプリで配信は便利なのですが、親に情報が届くので子どもが自分で確認できないというデメリットもあります。子どもに関わる情報を確実に子どもに届ける仕組みづくりも必要です。</p>	<p>こどもの体験活動である「いわみざわチャレンジスクール」は、学校を通して対象となるこどもに紙を配布していましたが、家に持ち帰るのが遅くなり申込期限が過ぎてしまうことや、児童一人一人に配付する学校の負担が大きかったため、令和5年4月からアプリでの情報配信のみとしていました。ご意見としていただいたデメリットも考慮し、より良い周知方法について検討してまいります。</p>
29	<p>基本目標 1-(2) 2-イ-(1)</p>	<p>経済的事情などで塾にいけないご家庭も多いと思うので、定年した先生など協力してもらいながら、市が助成し放課後、寺子屋みたいな形で子供が勉強できる環境を作ってもらえると嬉しい。 教育大学もあるので上記で、年の近いお姉さんお兄さんと触れ合えたり、話せたりする機会を作ってもらえたら尚嬉しい。 (さりげなく話をしたり、聞いてもらったりで救われる場合があったり、吹奏楽だと、専門楽器の詳しい知識が部活の中で聞けないことがあ</p>	<p>市では、経済的な理由で塾などに通えない家庭の小・中学生を対象に放課後の学習機会を提供し、学習意欲や基礎学力の向上を図るため、受講者の学力にあった個別指導による学習支援を実施しています。 また、教育委員会では平成28年度から中学生を対象に学習塾と連携した無料の講習会を開催しています。現在は、5教科の授業動画をオンデマンド配信し、いつでも・どこでも・何度でも学べる環境を構築しています。小・中学校では、放課後、希望者に対して学習の指導を受ける</p>

No.	項目	意見	市の考え方
		り、教育大学の生徒さんなどに定期的教えてもらえる企画があればすごい嬉しい～を聞くことがあります)	ことも可能ですので、学校の先生にご相談ください。 大学との連携については、すでにボランティアとして学校の学習会への支援を行っている学校があります。そういった事例を広く共有し、今後、様々な活動において連携に努めてまいります。 そのほか、こどもの体験活動を充実させることを目的に、教育委員会では、休日に学校以外の場所で、科学実験や料理、ものづくりなどの体験講座を実施しています。中には、教育大学の学生が講師となる講座もあるため、引き続き、年の近いお姉さん・お兄さんと接することができる講座を企画してまいります。
30	基本目標 2-イ-(2)	中学校の部活動の地域移行について。 子どもの数が少なく、各スポーツ競技の人数をかなえられないため、また、教職員の負担軽減の観点も理解しています。 地域の活動として長く根付き、学校が一手に引き受けてきた内容を継承するためには、指導者への報酬もきちんと支払われるべきです。また、部活動より費用が上がるのは当たり前なことなので、保護者負担は当然のことと考えます。 保護者の負担軽減より、子どもが活動できる場所の設備投資や改修費用、利用費用への自治体からの援助を期待したいです。	中学校の部活動の地域移行については、教育委員会や学校関係者のみならず、市内様々な業界から意見をいただきながら検討を進めています。子ども達が希望する種目の活動ができる環境と、教職員が自らの専門性を活かした指導に携わることができる環境の両立を目指し、引き続き部活動改革を進めてまいります。
31	基本目標 2-イ-(2)	中学校の先生が部活の顧問も行って～が、一部の熱心な先生以外は大変そう。早急に外部のコーチに委託するなど変えられるもの早急に取り組んでほしい。	部活動の地域移行については、教職員の負担軽減にも留意しながら進めてまいります。
32	基本目標 2-イ-(2)	心の相談医の配置につきまして、利用方法の意見なのですが、学校での相談事を、学校の先生以外にもしたいという声が子どもからありました。日常的に、子どもが直接相談しやすい仕組みを整えること必要かと考えます。	市立総合病院小児科では、毎週火曜・木曜（13:30～15:30分）を「心の相談」（予約制）として診療枠を設けており、担当医が対応できる体制を確保していますが、病院での相談は診療であり、悩みの緩和、解消に向け、親子そろっての治療が必要になりますので、日常的に子ども自

No.	項目	意見	市の考え方
			<p>身が直接相談することを想定していません。</p> <p>一方、こどもが日常的に直接相談しやすい仕組みを整えることは重要なことと考えています。こどもの声を聴きながら、こどもが気軽に相談できる仕組みや居場所について検討してまいります。</p>
33	基本目標 2-ウ-(1)	<p>・意見書</p> <p>私は子育て心理アドバイザーとして活動しながら、小・中学生の3人の子どもを育てています。</p> <p>かつて、自分自身の子育てがとても大変で、心身ともに疲弊し、追い詰められた経験がありました。どうにもならない苦しさの中で、「このままではいけない」と思い立ち、子どもの発達心理を学び、考え方（マインドセット）を変えました。その過程で気づいたのは、「私たちは、子育て（教育）の仕方を誰にも教わっていない」という事実です。子どもの育ち、つまり「ヒトの育ち」を知らないがゆえに、必要のないことで悩み、不安になり、結果として親が疲弊してしまう。さらに、親の不安は子どもにも伝わり、家庭全体に影響を及ぼします。だからこそ、まずは保護者に「子どもの育ち」について知る機会を提供することが大切ではないでしょうか。正しい知識は、お守りになります。実際に、私自身がその知識に救われましたし、一緒に学んだ全国の保護者たちも、みなしあわせなお母さんへと変わっています。</p> <p>現在、私はお母さん・お父さんたちが、子どもの育ちを知り、安心して子育てができるように、学びの場やコミュニティを提供する活動をしています。子育て中の保護者が正しい知識を得ることで、不安を減らし、親子ともにしあわせな関係を築けると確信しているからです。子どもの笑顔は何より大切ですが、その前提として、お母さん・お父さんが笑顔で安心できる環境を整えることが不可欠です。そのためには、親が</p>	<p>子育て当事者がこどもの育ちについて正しい知識を学び、安全に安心して子育てができる環境を整備することは重要であると考えています。</p> <p>こども家庭センターでは、妊娠中の過ごし方や、乳児の育て方などについて実習などを行うプレママ教室やパパママ教室を実施するほか、妊娠・出産にあたり複数回の面談機会を通して必要な支援が提供できる相談体制を整備するとともに、地域子育て支援拠点、地域親子ひろばなどの行事を実施し、子育て中の親子の孤立を防ぎ、子育て家庭の交流や仲間づくりを促す場を提供しています。</p> <p>また、乳幼児期の発達段階に応じて、家庭教育に関する基礎理解や心身の発達の特徴などを学ぶ家庭教育学級を実施するとともに、こどもの日々の成長記録や思い出のほか、こどもの成長や発達で気になることや心配ごとなど、こどもに関わるものを自由に綴ることができる「えみふるふあいる」をすべての子育て当事者に配付し、家庭や地域で楽しみながら子育てができるように支援しています。</p> <p>地域において個人や団体で子育て支援活動を実施している方々の声もお聴きしながら、より安心して子育てができる環境となるよう取組を進めてまいります。</p>

No.	項目	意見	市の考え方
		<p>「正しい知識」を学ぶ機会を、行政としてもっと支援してほしいと願っています。もし岩見沢市として、保護者向けの学びの場を提供する機会を検討されるのであれば、ぜひ私の活動もお役に立てるかと思います。「岩見沢市のお母さん・お父さんを幸せにしたい。」そんな思いで活動している一市民として、この意見をお届けします。</p>	
34	基本目標 3-(1)	<p>現在小学校一年生の娘、年長の息子の親です。一番大変だなと思うのは、やっぱり経済面です。給食費、副食費の無償化、高校卒業か大学まで無償化だったり、減額や負担を大きく減らしていただけると、助かるし、将来的にも長く岩見沢市に住んでいられると思います。親も近くに子供がいたら、安心だし。 子供の未来、希望を経済的理由で諦めさせたくないです。</p>	<p>子育て家庭に対する経済的支援については、既存の取組の見直しや他自治体の取組を参考とするなど、効果的な支援について適宜検討してまいります。 給食費については、現在、国が学校給食費無償化の検討を進めており、今後の無償化議論の動向を注視しています。</p>
35	基本目標 3-(1)	<p>0～2歳児の保育料を無償化にしてほしいです。子供の学費のために働きたいと考えていますが、0～2歳のうちは保育料が大きくほぼ利益にならないという本末転倒な事態になってしまいます。これはかなり第一子を出産する(子を持つかどうか決断する)足枷になると思います。 また、我が家は第一子と第二子の年齢差があるため、第二子の保育料無償化も利用できません。第一子第二子共に保育園に在籍している間みの無償化であること、所得制限があることで、書いてあるだけで利用できない意味のない制度になってしまい悲しいです。</p>	<p>保育料については、国が示す基準額を減額するとともに、所得に応じた保育料の階層を細分化し、保護者負担の軽減に努めています。また、第2子、第3子無料の取組も実施していますが、要件を満たさない場合は無料とならない点については、いただいたご意見のとおりです。 限りある財源の中で、子育て支援施策全体を考えながら、今後の経済的支援のあり方について検討してまいります。</p>
36	基本目標 3-(1)	<p>・「切れ目のない」子育て支援について 素案の中で「切れ目のない」という単語が多く見受けられたが、今の育児・子育て支援は年齢によりどんどん児童手当が下がっていく。 また、所得制限によりさまざまな支援を受けられなくなることも多々ある。これは果たして切れ目のない支援と言えるのだろうかという疑問に</p>	<p>児童手当については、国の基準と同様の支給を行っており、令和6年10月から所得制限は撤廃され、3歳未満が1万5千円、3歳以上高校生年代までは一律1万円、第3子以降は3万円となっています。また、市の独自助成により、高校生年代までのこどもの医療費を完全無料化しています。令和6年10月からは所得制限を撤廃し、さらなる負担軽減</p>

No.	項目	意見	市の考え方
		感じてしまう。そもそも児童手当は年少扶養控除の代替として掲げられた認識だが、年齢が上がるにつれ金額が減ることはおかしいと思う。東京都のように補填して貰えるととても助かる。	に努めています。 子育て家庭に対する経済的支援については、既存の取組の見直しや他自治体の取組を参考とするなど、効果的な支援について適宜検討してまいります。
37	基本目標 3-(1)	・ p65 ファミサポについて とても良い事業で助かっている家庭は多いです。しかし、利用料の高さから利用に躊躇し、気軽に使えない状況もあります。 経済的余裕のある家庭だけでなく、一般の家庭も使えるよう、市から助成が必要です。	ファミリー・サポート・センター事業では、生活保護世帯や市町村民税非課税世帯の利用料を無料とし、保護者負担の軽減に努めています。 子育て家庭に対する経済的支援については、既存の取組の見直しや他自治体の取組を参考とするなど、効果的な支援について適宜検討してまいります。
38	基本目標 3-(1)	・ 交通費の助成 高齢者に助成があるように、乳児連れにも助成希望。冬は積雪でベビーカーが使用できず抱っこ紐での移動になり悪天候時の外出や転倒を気にして家にこもりがちになる。タクシーやバスの交通費助成があればもっと気軽に児童館や支援センターへ出向き親子共に気分転換が出来る。	子育て家庭に対する経済的支援については、既存の取組の見直しや他自治体の取組を参考とするなど、効果的な支援について適宜検討してまいります。
39	基本目標 3-(1)	岩見沢市は子育てに協力的ではないのが現状です。 オムツが無料など取り組んでいる自治体があるのに岩見沢はゴミ袋一年分とってくれるだけだし、ゴミ袋よりオムツ無料の方が有難い。ミルクもお金が掛かるので、安く買える割り引き券配布したりと、何かしていただかないと、少子化は少しも改善されないと思う。それだけが良いとは言えませんが、ゴミ袋じゃない何かを考えて欲しい。	2歳未満の乳幼児がいる家庭に対して、「燃やせるごみ」の指定ごみ袋を配付し、ごみ処理手数料の負担軽減を行っています。 また、出産育児用品の購入や子育て支援サービスの利用にかかる経済的な負担軽減を図るため、妊娠届出時と出産後にそれぞれ5万円の給付する出産・子育て応援事業を実施しています。 子育て家庭に対する経済的支援については、既存の取組の見直しや他自治体の取組を参考とするなど、効果的な支援について適宜検討してまいります。
40	基本目標 3-(1)	子育て世帯に送られる、おむつ用の燃えるゴミ 20 リットル無料配布の件だが、20 リットルでは、こまめにゴミステーションに捨てていくの	ごみ袋の大きさについては、こまめに捨てたい方やまとめて捨てたい方など様々なご意見が寄せられますが、他自治体の状況や 20 リットル

No.	項目	意見	市の考え方
		が大変なので、枚数は少なくても良いので、リトル数を増やして欲しい。そうすれば、袋いっぱいにおムツを貯めて、週に一回捨てにできれば効率も良い。	は購入数が多いことからサイズを決めています。今後、市民の皆様のニーズを踏まえて、適宜検討してまいります。
41	基本目標 3-(1)	ゴミ袋をかわいいイラストでバラ売りにして、ショッピングバッグとして使える取り組みを行ってほしい。絵を市内の子供に公募すると子供のゴミ意識にも働きかけられるので良い。	こどもたちにごみへの意識を働きかける取り組みは重要と考えていますので、提案を含めて今後様々な施策を適宜検討してまいります。
42	基本目標 3-(2)	えみふるふあいは産まれた時に欲しい。1歳半健診でもらっても、ワクチンもほぼ終わっているし、遅い。	えみふるふあいの配付時期につきましては、1歳6か月児健康診査の際にすべての保護者にお渡ししていますが、配付をご希望の方には、妊娠中や出生時などでもお渡しすることが可能です。 欲しい時に受け取って活用できるよう、受け取ることができる時期について周知啓発に努めてまいります。
43	基本目標 3-(2)	目指す町の姿4の参考となりそうな例が身近にありましたのでお伝えします。一つは町内会のラジオ体操、二つ目は中央小学校のPTCAの活動です。 まずは、鳩ヶ丘町内会で春から夏に行われている朝のラジオ体操についてです。市の健康ポイント事業の対象にもなっており大人は参加することでポイントがもらえます。大人にとってもこどもにとっても大事な居場所のひとつになっています。地域の方との交流の場となり、老若男女問わず、知り合いが増えることで、登下校時の安心にもつながっています。地域の方は、こどもの些細な変化に気が付いて、元気が出るような声掛けをしてくださり、私自身も助かっています。娘曰く、「お友達になるのに年齢は関係ない。話していて楽しければお友達」ということでたくさんの人とのつながりができたことで充実感や安心感を得ているようです。 中央小学校ではPTCAの活動が盛んです。昨年の秋には、学校祭を開催	市内の小・中学校では、「地域とともに歩む学校」と「学校を核とした地域づくり」を目指し、全中学校区に学校運営協議会を設置しています。その中で、地域の方々が学校の教育活動にご支援いただいたり、地域の方々が学校に集まる機会を設けることで、地域の活性化を図ったりしています。 また、学校運営協議会は、地域の方々が中心となった組織であるため、教職員の異動があっても、地域に根差した持続可能な取組になると考えています。引き続き、社会総がかりでこどもたちを支える体制構築を図ってまいります。 こども・若者の育ちや子育てをまち全体で支え、すべての市民がこども・若者の育ちと学び、将来に関心・つながりを持つまちを目指し、いただいたご意見を参考としながら今後の取組を進めてまいります。

No.	項目	意見	市の考え方
		<p>しました。岩見沢市の企業が中心となり様々なワークショップや屋台等が設けられ、誰もが参加できるイベントになっていました。学校を中心に地域と共に歩む学校コミュニティー、新しい時代の学校の在り方なのかなと思います。様々な世代の方に子育てにかかわってもらえる機会となっていました。既存の活動の中にも、未来につながるような取り組みがあると思います。持続可能な活動になるように支える仕組みを作っていくことが大切かと思いますので、市の他事業との連携等も考えながら進めていくとさらなる効果も見込まれるのではないのでしょうか。</p>	
44	基本目標 3-(3)	<p>子供がいても働きやすい会社を増やして欲しい。</p>	<p>まち全体でこどもや子育て当事者を支えるためには、夫婦・パートナーの相互協力や地域の方などの協力だけでなく、職場の理解・協力のもと、男女とも仕事と子育てが両立できる環境を整える必要があると考えています。引き続き、ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発や両立支援に関する各制度の情報提供を行うなど、まち全体で子育てを応援する取組を進めてまいります。</p>
45	基本目標 3-(5)	<p>情報発信の強化ということで、現在の取り組みで行われている、すこやか手帳アプリは大変よいと思います。ラインで簡単に登録することができ、電話では相談しにくいこともラインから相談できるので、不安解消に役立つことと思います。</p> <p>子育てポータルサイトもわかりやすく、検索もしやすいのでほしい情報にたどり着きやすいです。広報やイベント等を通じての紹介を継続して行うことで、利用者を増やすことができることと思います。</p>	<p>情報発信については、子育てポータルサイトや「すこやか健康手帳」アプリを運用し、機能強化と情報発信に努めていますが、ご意見いただいたとおり、そうした取組について継続して周知を図ることが重要と考えています。</p> <p>必要な方に必要な情報が届くよう、ニーズ等を把握し、工夫しながら情報発信に努めてまいります。</p>
46	計画全体	<p>素案を読ませていただきましたが、率直にボリュームがすごく、読みごたえがありました。なので、大きくまとまっている子ども向けの方も読んでみました。</p>	<p>計画の推進にあたっては、国、北海道、市の各部門、関係機関のほか、地域を支える市民の皆さまとも連携していきます。</p> <p>事業の見直しの際には、こども・若者、子育て当事者からの意見を聴</p>

No.	項目	意見	市の考え方
		<p>見方を変えると、市民のほぼ人生に寄り添うための様々な施策、それも細かなライフステージ、抱える問題別、これぐらいのボリュームになるでしょうと思いました。難しく思えますが、当事者には身近で、個人的で日常です。個人的に解決できなところに寄り添ってくれるまちを目指して動いてくれるのはうれしいです。</p> <p>具体的に意見というのは、なかなか思いつかないのですが、ぜひ、今行っている事業をより充実させたり、常に利用者の声に耳を傾けてもらい、事業を育てていってもらいたいと思います。特に、市内での分娩状況が厳しくなってしまう、些細なことでも不安になりがちな妊婦や、それ以前にここ岩見沢ですっと暮らしていきたいと思う人が安心できるように、産前産後の部分の事業は縮小することなくお願いしたいと個人的に思います。</p> <p>少子化だからこそ、出来ることが必ずあるのではないかと思います。何より、自分の子供の未来が少しでも明るいものなるようにと願い込めて。そして、市民との連携も前向き進めてください。いろいろ思いで活動している人がたくさんいます。よろしくおねがいします。</p>	<p>き、利用者の視点に立った事業となるよう努めてまいります。</p> <p>産前産後の事業として、妊娠前の不妊症や不育症の治療費助成や、産後の母親を支える産後ケア事業とともに、専門職員が常駐することも家庭センターにおいて寄り添った相談・支援を実施していきます。</p> <p>また、現在計画している新病院では、小児科・産婦人科から構成される病棟とすることによりシームレスな連携を図るとともに、陣痛・分娩・回復までを同じ部屋で過ごすことができるLDR室を設置し、さらに安全で、安心して出産できる環境の整備を進め、出産や子育てが安心してできるよう寄り添った支援の充実に取り組んでまいります。</p> <p>こども・若者の育ちや子育てをまち全体で支え、すべての市民がこども・若者の育ちと学び、将来に関心・つながりを持つまちを目指し、いただいたご意見を参考としながら今後の取組を進めてまいります。</p>
47	計画全体	<p>子供が少なくなっている現代にとっていい取り組みになると思う。</p>	<p>本計画の推進にあたっては、こども・若者、子育て当事者などのみなさまからの意見を聴き、より良い取組となるよう努めてまいります。</p>
48	計画全体	<p>もうすぐ89歳を迎えます。子供は3人育てました。</p> <p>子育ての時期、母親は迷います。子供は将来社会の立派な一員となります。1人で考え、1人で力強く生きるためには、子育てをしっかりとしなければなりません。育児経験、子育て経験の母親は、そのお宝をたくさん持っております。市のご発展には、そのお宝を探り当てることです。</p> <p>未来の岩見沢の子供さんのご発展をお祈りいたします。</p> <p>※その他のご意見は計画に対する意見ではないため、非掲載といたし</p>	<p>本計画の推進にあたっては、こども・若者、子育て当事者などのみなさまからの意見を聴き、より良い取組となるよう努めてまいります。</p>

No.	項目	意見	市の考え方
		ます。	
49	計画全体	<p>岩見沢市の現状に関してはデータを元に触れられていますが、市特有の課題が見えにくかったです。なぜこれらの基本目標を立案したのでしょうか？例えば岩見沢市にはヤングケアラーはどれくらいいると推定されていますか？貧困が起りやすい母子の生活保護被受給世帯が減少したにも関わらず、こどもの貧困対策を更に講じるとされているのは何故ですか？読み手としては課題が書かれていないのに今後の方向性が何故か書かれているように感じます。</p> <p>また、成果指標に関する疑問があります。『小中高生がヤングケアラーの意味や内容について理解している人が増える』ことはポジティブに捉えて良いのでしょうか？実績指数として求めたいのは『ヤングケアラーであると感じている』ことが減ることではないですか？</p> <p>また『子育てに不安や負担を感じない』を増やすのはなかなか子育てしている当事者からすると難しいと思います。(特に初めての子育てをしている私としては多かれ少なかれいつも不安はあります)そのため、『子育てをする上で市のサービス等によって不安や負担が減っている』と今後していった方が成果指標を明らかにしやすいのではと考えます。</p> <p>子育てに関しては実の親とでさえ、既に子育ての常識は変わってきています。その中で『地域の人との繋がり』というのも同世代間での繋がりを増やしたいのか、隣近所の幅広い世代との繋がりを増やしたいのかで意味合いはかなり変わると感じます。</p> <p>こども計画のこども向けも拝見しましたが、平仮名をふられていても書いてある単語が噛み砕かれていないのでどの年代に伝える想定で作成されたのかなと疑問に思いました。</p>	<p>市町村が策定することも計画は、国のこども大綱や都道府県こども計画の内容を勘案する必要があります。基本目標は、市民の皆さんにわかりやすく、国の方針等との対比や市の施策の整理をする観点から、こども大綱で示されている体系ごとに整理し、3つの基本目標と20の施策としています。</p> <p>ヤングケアラーについて、市の調査では、国の調査と同様に認知度は低い状況ですので、支援を必要とする潜在的なヤングケアラーが一定数いると考えています。そのため、こどもを含む市民全体のヤングケアラーの認知度の向上により、地域住民の理解を得ながらヤングケアラーであると自覚することもを支援し、ご意見をいただいた内容に繋げていきたいと考えています。</p> <p>また、「子育てに不安や負担を感じない」という成果指標については、岩見沢市総合戦略における成果指標にも用いており、計画との整合を図るために統一した指標としていますが、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>地域の人とのつながりは、同世代間や隣近所の幅広い世代などを含めた地域全体で考えています。子育てを通して、地域において様々な人とのつながりを持つことができるよう取組を進めてまいります。</p> <p>こども向けの計画(案)のご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	項目	意見	市の考え方
50	計画全体	<p>・子供の生活実態調査について アンケート等の配布数と回収数を確認すると、30%前後の家庭のみの回答なのが見える。ここからは経験に基づく予測になってしまうが「アンケートに回答し期日までに提出できる」家庭というのは家庭環境が良く健康的な生活を送っている場合がかなり多いと考えられるので、生活実態調査だけでは浮かび上がることのなかった問題も今一度深掘りしていただきたい。</p>	<p>本計画の推進にあたっては、生活実態調査を含む各調査内容を参考としながら取組を進めますが、各事業については毎年度点検・評価を行うとともに、声をあげにくい子ども・若者、子育て当事者に配慮しつつ意見を聴き、より良い取組となるよう努めてまいります。</p>

■こどもの意見

No.	意見	市の考え方
1	学べるところを増やしてほしいです。	この計画では「目指すまちの姿」の1つとして、子ども・若者のみなさんに住みやすいと感じてもらえるよう、学びや遊びの居場所づくりに取り組んでいきます。
2	各学校の近くに、自習できるような場所を作ってもらえると嬉しい（街なかに集中してるため）。	学校の近くに学べたり、遊べたりする場所があると、一人でもみんなでも行きやすいですね。
3	雨とか雪のときに友達の家以外にみんなで放課後でも遊べる場所が学校の近くにほしい。	意見を書いてくれてありがとうございます。意見を参考にして、これからの居場所づくりを考えていきます。
4	岩見沢市内に公園のような遊べる場所をもっと作って欲しいです。	岩見沢市が管理する都市公園は198か所あります。使い始めてから30年以上の公園が多いため、遊具やベンチなどが安全に利用できるように管理したり、計画的に新しいものと取り替えることを考える
5	みんなが楽しく使える公共施設を作してほしい(公園等)。	「岩見沢市公園施設長寿命化計画」という計画をつくり、みなさんにとって利用しやすい公園となるように取り組んでいます。
6	子供の遊べる場所・ものが少なくみんなほぼケータイで遊ぶようになってきているから、公園を増やすか今ある公園をより発展させてほしいです。	遊べる場所がもっと増えて、色々な遊びができると楽しいですね。
7	栗沢認定子ども園の横の空き地に、子どもが自由に遊べる建物や遊具を作ってほしいです。	意見を書いてくれてありがとうございます。意見を参考にして、遊び場について考えていきます。
8	岩見沢に無印できたからどんどんもっと今流行ってるお店とかスタバとか作ったらいいと思う。ドンキーホーテ作って欲しい。	意見を書いてくれてありがとうございます。市外にある好きなお店やいつも行っているお店が市内にできたらうれしいですね。
9	わざわざ、江別まで行って映画を見に行くことが面倒なので岩見沢に映画館を作ってください。文房具店も少ないから、文房具専門店を作ってください。	岩見沢市だけで決めることができないことなので難しいですが、みなさんにとって魅力のあるまちづくりを進めていきます。
10	もっと綺麗な学校にしてほしい。	岩見沢市には、小学校が14校、中学校が9校ありますが、建設から年数の経過した学校も多いため、「学校施設長寿命化計画」という計画
11	学校に緑を増やしてほしい。	をつくり、みなさんが勉強しやすい環境を整えられるように取り組んでいます。また、令和6年度に各学校の普通教室などにエアコンを
12	学校が古いから新しくしてほしい。	

No.	意見	市の考え方
13	学校で夏はエアコン、冬は暖房をつけるなど！	設置しました。
14	無料のスクールバスが欲しい。	意見を書いてくれてありがとうございます。意見を参考に、みなさんから愛される学校づくりを進めていきます。
15	学校でのいじめの対策をしてほしい。	<p>意見を書いてくれてありがとうございます。</p> <p>学校や教育委員会ではみなさんが安心して過ごせるよう、いじめに対する様々な取組をしています。</p> <p>市内のすべての小中学校で、困っている人や悩んでいる人を支えあうような仲間づくりを進めたり、いじめで困っている人を早く見つけるためのアンケートや、定期的に面談するなどの取組をしています。</p> <p>もし、いじめで困っていることや悩んでいることがあったら、学校の先生やお父さん、お母さんなどの話しやすい人に早く知らせてください。だれかに知らせてくれたら、私たち教育委員会ですることができると思います。</p> <p>いじめは許されるものではありません。意見を参考にしながら、いじめが無くなるようにこれからも取り組んでいきます。</p>
16	義務教育学校になって、心配ごととかあるかもしれないから、相談場所を作るなど。	令和7年4月に開校するくりさわ学舎は、岩見沢市で初めての義務教育学校になります。
17	義務教育学校（くりさわ学舎）の説明をもっと詳しくしてほしい。	<p>くりさわ学舎の情報は市のホームページにも載せていますが、みなさんにとっても初めてのことで、小中学校の児童生徒が1つの校舎で学校生活を送ることになるため、不安や疑問があると思います。</p> <p>意見を言ってくれてありがとうございます。</p> <p>今回意見があったことを学校の先生にも伝えて相談しやすいようにしますので、もし、心配なことがあったら、学校の先生や教育委員会に相談してみてください。</p>

No.	意見	市の考え方
18	岩見沢市に高校自体が少ないので、せめて、魅力的な色々な学科を新設してほしい。	<p>高校の学科については、市内に魅力的な学科として、緑陵高等学校の情報コミュニケーション科、東高等学校の文理探究科、農業高等学校の農業科学科、畜産科学科、食品科学科、農業土木工学科、環境造園科、森林科学科、生活科学科があり、近隣では、三笠高等学校の食物調理科、美唄尚栄高等学校の総合学科、美唄聖華高等学校の衛生看護科など、さまざまな学科があります。</p> <p>意見を参考にして、これからも魅力的な学科を考えていきます。</p>
19	授業の時間を減らして欲しい。	<p>意見を書いてくれてありがとうございます。</p> <p>みなさんが1年間に学ぶ授業の時間は法律で決まっているため、決められた時間より減らすことは難しいです。</p> <p>しかし、授業を受けるのが辛かったり、苦しかったりする人もいます。</p> <p>もし、苦しい思いをしている人がいたら、相談にのることが可能ですので学校の先生に相談してみてください。</p>
20	勉強で、保健の学習は女子と男子、別々に学習させてほしい。高学年になって男女で勉強したくないから。	<p>意見を書いてくれてありがとうございます。</p> <p>保健の学習は、健康のことだけでなく、ときには性に関することでも学びます。そういった内容を男子と女子と一緒に学ぶのは嫌だなと思う人や恥ずかしいと思う人がいたり、自分の健康や性に関することだけを学びたいと思う人がいたり、みなさんの考えは様々だと思います。</p> <p>男女と一緒に学ぶことは、お互いの身体の仕組みや違いを分かりあうことで、命や健康の大切さだけでなく、お互いへの思いやりも学ぶことにつながると考えています。</p> <p>意見を参考にして、保健の学習が少しでも楽しい学びとなるように取り組んでいきます。</p>

No.	意見	市の考え方
21	<p>こどもの意見を学校の活動、授業に取り入れて欲しい。勉強をしろというけど、すすんでよい範囲が決まっていて、興味があっても先に進んでいけなく、授業が退屈になってしまう。受け身の授業ばかりで、つまらなく感じてしまう。今は少人数で授業をうけているので、配慮してもらっているが、本当はみんなと意見を交わしながら授業をしたいです。</p> <p>授業中トイレに行きたくなくても行きにくいことがあったり、季節によって授業中水分補給も許可が必要なのはおかしいと思う。生理現象なので、いきたいときにいきたいし、飲みたいときに飲みたいです。ダメな理由があるならみんなが納得できるように説明してほしいです。自分たちの学校なので、自分たちで決めたいです。</p>	<p>意見を書いてくれてありがとうございます。</p> <p>学校の授業の進め方やきまりについては、みなさんの声を反映したいと考えています。困っていることや意見がありましたら、学校の先生や教育委員会に相談してみてください。</p>
22	<p>学校は、本当に健康なからだと豊かなところを育てる場所なのか、わかりません。幼稚園では、丁寧な言葉遣いをと習ってきました。先生も丁寧な言葉遣いをしてくれて安心できました。小学校に入学して、知らない先生に呼び捨てで名前を呼ばれたり乱暴な言葉遣いをしている先生がいてとても怖いおもいをしました。幼稚園の方が楽しかったし、安心して通えました。</p> <p>学校は嫌だけど、近所の公園でやっているラジオ体操はとても楽しみです。春から秋まで、6時半に集まってラジオ体操をしています。おじいちゃん、おばあちゃんともお友達になれました。みんなに会えるのが楽しみです。</p> <p>チャレンジスクールも楽しいです。郷土科学館での実験や東山公園での雪遊び、学校とは違うことができるので楽しみです。</p>	<p>怖い思いや嫌な思いをされたのですね。意見を書いてくれてありがとうございます。意見を参考にして、みなさんから愛される学校づくりを進めていきます。</p> <p>また、体験活動である「いわみざわチャレンジスクール」について、楽しみにしてくれてありがとうございます。引き続き、みなさんに楽しんでもらえる講座を考えていきたいと思えます。</p> <p>ラジオ体操など、地域でいろいろな人と一緒にお話したり、遊んだりすることはとても大切なつながりだと思います。そのようなつながりを地域全体に広げていきたいと考えています。</p>
23	部活を増やしたら良いと思う。	意見を書いてくれてありがとうございます。
24	もっと部活のスポーツを増やしてほしい。	児童生徒の人数が減り、各種目の専門性を持った先生も減っているため、新しい部活動を増やすことはとても難しくなっています。しかし、
25	部活の種類を増やしてほしい。	入学した学校によって選べる種目数に差が出ないように、「拠点校
26	部活が少ないから増やしてほしい。	部活動」という仕組みを取り入れて、拠点校で行っている部活動にも
27	小学校と中学校の部活を増やしてほしいです。	

No.	意見	市の考え方
28	小、中学校の部活動を増やしてほしい。	参加できるようにしています。
29	部活動を増やしてほしい。	
30	もっと部活をさかんにしてほしい。	
31	部活の時間をもっと長くしてほしい。	意見を書いてくれてありがとうございます。 国や北海道の方針により、部活動の時間は平日2時間、休日3時間以内と決められています。また、1週間の中で平日のうち1日、休日のうち1日をお休みとしないといけないため、時間を増やすことは難しいです。
32	部活の時間を少し増やして欲しい。	
33	部活動での交流を増やしてほしい。	
34	部活のことで他の学校との交流を増やしてほしいです。(練習試合じゃなくて通常練習を一緒にやりたい)	意見を書いてくれてありがとうございます。 部活動で色々な人と交流ができると新しい友だちができたり、やる気が出たりして楽しいですよ。 拠点校部活動や部活動の地域移行によって、岩見沢市でまとまったチームとなって活動を始めた種目があります。今後は拠点校部活動を増やしていく予定です。
35	もっと岩見沢市の小学生の交流を深めてほしい。	意見を書いてくれてありがとうございます。 いろいろな学校の児童生徒との交流の場として、「仲間づくり子ども会議」や「子ども文化祭」などを開いています。また、一部の学校では、ほかの学校とオンラインで結び、授業で学んだことや委員会活動を紹介する取組が増えています。みなさんからも取り組んでみたい交流がありましたら、学校の先生に相談してみてください。
36	他の学校との交流を部活動以外でも増やしてほしい。	
37	小学生と中学生、高校生それぞれの交流がしてみたい。	
38	他の学校との交流とか増やしてほしい。	
39	子供たちがもっと学校に行きたがるような、イベントを作してほしい。	
40	楽しいイベントをしてほしい。	各学校では、様々なイベントが行われています。ほかの学校が行っている取組を広くお知らせして、より良い取組を各学校へ広めていきたいと思えます。また、みなさんからも取り組んでみたいイベントがありましたら、学校の先生に相談してみてください。 また、教育委員会では、休日に学校以外の場所で、科学実験や料理、ものづくりなどの体験講座「いわみざわチャレンジスクール」を実施し
41	子供が楽しめる企画をもっと立ててほしい。	

No.	意見	市の考え方
42	子供から高齢者まで楽しく遊べるイベント的なものを行いたい。	たり、みなさんにスポーツの楽しさを知ってもらおうと、小学1～3年生を対象に「楽しいキッズスポーツ教室」を開催して、各小学校の児童が参加してくれています。みなさんに楽しんでもらえる講座はもちろんのこと、地域の方との交流や職業体験など、学びの場としても充実した講座を考えていきたいと思えます。
43	中学生の職業体験のイベントをもっと充実させてほしい。	運動に限らず、もっと色々な人が集まれるイベントがあると楽しいですよ。
44	百餅まつりで、中学生がもっと参加できるような企画があると嬉しい。	意見を書いてくれてありがとうございます。意見を参考にして、より楽しい企画について考えていきます。
45	通学路の除雪をもっと徹底してほしい。途中歩道がなくて困っています。車とすぐ近いところで歩いています。	通学路の除雪については、歩道が途中でなくならないようにつながりを考えて除雪を行っています。しかし、全ての歩道を除雪することは難しいため、車道を歩かなければいけない場所もあります。また、冬場は雪が積もったり、凍っていたりして歩きにくくなるため、十分に気をつけてほしいと思えます。今回の意見を参考にして、みなさんが安全に歩けるような除雪の方法などを考えていきます。
46	岩見沢で、外にゴミが落ちていて、快適に過ごせないから対策してほしい。	意見を書いてくれてありがとうございます。市では毎年7月1日から7日までを「いわみざわ環境週間」と決めて、市民のみなさんや会社などが行う周辺のゴミ拾いや花植えなどのまちをきれいにするための取組を「いわみざわ環境美化活動」として応援しています。まちをきれいにするには、地域に住む一人ひとりの意識が大切です。みなさんの環境美化の意識を高める取組を進めていきます。
47	病院での待ち時間に、本を置いたりしたほうが良いと思えます。	小児科外来の待合室や病棟には本やおもちゃを置いています。意見をいただきましたので、新しいものを置いたり、入れ替えをした

No.	意見	市の考え方
		りということを考えていきたいと思ひます。
48	子育ての応援メッセージを手紙のような感じにして子供がいる家に送る。	子育ては、保護者だけがするものではなく、子育てのボランティアの人や近所に住んでいる人、子ども・若者のみなさんと一緒に市全体で支えていきたいと考えています。 応援メッセージを手紙のようにすることは、とても温かみがあって良い取組だと思ひます。 意見を書いてくれてありがとうございます。意見を参考にして、子育てを応援する取組を考えていきます。
49	給食費を払えない家庭のために給食費免除する制度などを設ける。	市では、生活が苦しい家庭には、生活保護や就学援助などの制度により、給食費の支払いを支援しています。取組について意見を書いてくれてありがとうございます。
50	子供が虐待などを受けている場合より相談しやすいように電話だけではなく、学校から行きやすい距離に相談センターみたいなものをつくる。	虐待などの相談は、児童相談所全国共通ダイヤル（電話189）、岩見沢児童相談所（鳩が丘1丁目）、子ども家庭センター（であえーる岩見沢3階）でお受けしていますが、何かがあったとき、近くに相談できる場所があると安心できますね。 意見を書いてくれてありがとうございます。意見を参考にして、より相談しやすい方法を考えていきます。
51	僕は、登校時の見回り活動を増やす方がいいと思ひます。 そのためには、町内会や市などの協力がもっと必要だと思ひます。理由は、ホームページにも書いてある通り、若者を守るためには、子供が安全でいられることを行った方がいいと思ひたからです。 町内会や市の協力については、祖母が、元民生委員で、このことを言うと町内会に入会する方が少ないと言っていたので、市としての協力が必要だと思ひました。	意見を書いてくれてありがとうございます。 まち全体で子ども・若者のみなさんを守るためには、町内会などの地域での助け合い、支え合いが大切だと考えています。 町内会では地域のイベントに参加しているいろいろな人と交流ができたし、地域の人や交通安全や防犯のパトロールをしてくれたりします。市では町内会などの良いところを紹介して、加入を呼びかけています。 意見を参考にして、子ども・若者を守る取組を進めていきます。
52	とても良い計画だと思ひます。	この計画は、令和7年度から令和11年度までの5年間の計画です。

No.	意見 <small>いけん</small>	市の考え方 <small>しのかんがかた</small>
53	<p>すごく過<small>す</small>ごしやすそう<small>おち</small>でいいと思<small>おも</small>いました。</p>	<p>みなさんに、5年後<small>ごねんご</small>には良い計<small>けい</small>画<small>かく</small>だ<small>おも</small>ったと思<small>おも</small>ってもらえるよう<small>と</small>に取り組<small>く</small>みを進<small>すす</small>めていきます。意見<small>いけん</small>を書<small>か</small>いてくれてありがとうございます。</p>